

平成 29 年 2 月 24 日

各 位

株 式 会 社 仙 台 銀 行
株 式 会 社 商 工 組 合 中 央 金 庫
株 式 会 社 日 本 政 策 金 融 公 庫 仙 台 支 店

**東日本大震災の被災企業に官民一体で復興支援
～名取市に水産加工場を新設、3行が協調融資～**

株式会社仙台銀行、株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策金融公庫仙台支店（以下「3行」という）は、今般、東日本大震災からの復興と地域ブランドの確立に取り組む株式会社海祥（仙台市若林区、以下「当社」という）に対し、水産加工場の建設資金を融資実行いたしましたので、お知らせします。

1. 被災地復興へ新たな水産加工施設建設

当社は、東日本大震災前まで仙台市の本社工場と塩釜市の塩釜工場を拠点に水産加工業（主に小魚・海藻類の加工・製造）を営んでいましたが、東日本大震災で塩釜工場が津波被害に遭い、閉鎖を余儀なくされました。震災後は、本社工場に設備を移転して事業を再開したものの、施設の面積に限りがあるため、生産性の面で課題がありました。

そこで、当社は平成28年2月に名取市水産業共同利用施設復興整備事業の事業主体に選定されたことを機に、新たに名取市で工場を建設し、海で獲れる水産物を主な原料として“安心”“安全”“健康”をテーマとした地域ブランドとして高品質、高付加価値の製品を安定的に供給する事業を計画いたしました。

2. HACCPに対応し、生産性を向上

今回の事業では、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた名取市閑上地区の水産加工団地で割当てられた約5,300㎡の敷地に、2階建て延べ約2,000㎡のHACCP対応の水産加工施設を建設し、小魚を中心に二次加工を行う計画です。事業がスタートすることで、被災地復興の加速化および人口流出・産業の衰退が懸念される被災地における雇用創出にも寄与します。工場完成は平成29年4月予定となっています。

当社の水産加工場建設にあたって、国が補助を行うほか、3行が協調融資を行い、官民が一体となって当社の金融面を支援しております。

3行は今後とも相互の連携を一層深めるとともに、東日本大震災からの復興に向けた取り組みを積極的に支援してまいります。

【本件にかかるお問い合わせ先】

株式会社仙台銀行地元企業応援部企画室	担当：佐々木	T e l : 022-225-8310
株式会社商工組合中央金庫仙台支店	担当：宮宇地	T e l : 022-225-7411
株式会社日本政策金融公庫仙台支店（農林水産事業）	担当：渡辺・堀尾	T e l : 022-221-2333

【株式会社海祥の概要（平成 29 年 1 月 31 日現在）】

事業者	株式会社 海祥
代表者	大友 史祥（おおとも ふみよし）
所在地	宮城県仙台市若林区卸町 5 丁目 3 - 4
設立年月日	平成 6 年 7 月 22 日
資本金	32 百万円
主な製品	天然小魚・海藻類の加工品

以 上